

総務産業建設常任委員会 会議録（要旨）

開催日時 令和6年12月9日（月） 9時54分～15時45分
 開催場所 全員協議会室
 出席委員 恩道正博 委員長、西尾雄次 副委員長
 中村 聡、磯貝幸博、中川 達、南 守雄
 欠席委員 （なし）
 オブザーバー 七田満男 議長
 傍聴者 （なし）
 説明員 松井 総務部長、北野 総務部担当部長、上前 都市整備部長、宮本 都市整備部
 担当部長、重島 消防長、山田 総務課長、安下 総務課担当課長、北 財政課
 長、奥田 企画課長、法利 企画課担当課長、宮崎 地域産業振興課長、渡辺 都
 市建設課長、四月朔日 上下水道課長、舟野 上下水道課担当課長、中本 消防
 署長、長谷川 会計課長
 事務局・書記 堀川 議会事務局長、川端 事務局次長兼参事

議 件

（１）町長提出議案の審査

○ 主な質疑等

- ・ 災害公営住宅について

【委員】

災害公営住宅の建設予定地について、事前に議会に説明がなかったことについて、説明を求める。

【説明員】

一刻も早く被災者の住居を確保することが必要と考え、すぐに用地確保が可能な鶴ヶ丘5丁目県営住宅付近の町有地と、白帆台地区西側の県有地の活用について、県と協議をしていたが、11月22日の特別委員会開催時には、県との協議の結論が整っていなかったため、報告出来なかった。

被災者の住居に対する不安に応えるため、27日以降の説明会の席上にて報告した。

議員の皆様には、今回の決定に至るまでの過程について、より詳細な説明が不足していたことを深くお詫びする。

【委員】

白帆台以北で復興住宅でつくる話はどうなったのか。市街化調整区域の解消についても県に要望していたはず。

【説明員】

被災者のために、最短で建設可能な白帆台IC交差点付近での災害公営住宅の建設に取り組みたい。

白帆台以北の集合住宅の開発については、今後、地権者との交渉や用地の選定を進め、並行して事業を進めていきたい。

- ・一般会計補正予算（第6号）について

【委員】

被災地域コミュニティ施設等再建支援補助金について、神社等への補助は政教分離に抵触しないのか。

【説明員】

地域コミュニティに必要不可欠な施設の再建に係る費用として、県の復興基金を活用して補助される。

- ・内灘町災害復興計画（基本計画）について

【委員】

液状化した地域における住宅再建に向けた情報提供はどう考えるか。

【説明員】

住宅再建に向け、ボーリング調査結果などの情報提供や、相談体制の充実を図る。

（２）執行部からの報告事項

- ・令和６年人事院勧告に伴う職員の給与改定について

令和６年人事院勧告にかかる国家公務員給与の増額などを盛り込んだ、給与法改正案の年内成立・公布を受け、勧告に準じた給料表並びに期末手当及び勤勉手当の支給率の改正を行う。

- ・上下水道料金のコンビニ収納について

令和７年１月より、上下水道料金が、従来の金融機関のほか、資料に記載のコンビニエンスストアやスマホ決済アプリで納付できるようになる

（３）その他

- ・住まい再建にかかる意向調査について

【説明員】

石川県と町が実施するもので、建設型、賃貸型、公営住宅の応急仮設住宅に入居する被災者３３９世帯に調査票を送付する。

- ・ハマナス２丁目地内の準幹１号線の消雪装置の故障について

【説明員】

落雷により設備が故障し、交互散水の1系統が散水不能となった。機器の取替は業者に依頼済で、修理完了までは、機械除雪等に対応する。

・ 県道 松任宇ノ気線の仮舗装工事について

【説明員】

地震により隆起している鶴ヶ丘から大根布の区間の仮舗装工事を12月18日から26日の間の2日間で実施する旨、県より報告があった。

（以上）